

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

令和3年3月12日

No.105 大牟田市エススクール
担当者通信

特色ある実践事例の紹介

今号では、各学校で取り組まれている特色ある実践事例を紹介いたします。

平原スマイルショップ 平原小学校



平原小学校では、平原フェスタやどんど焼き、敬老会への参加など、地域とのつながりを大切に活動に取り組んでいます。しかし、今年度はこれらの活動の多くが実施できない状況にあります。そこで、このような中でも地域とのつながりを持ち続けるために、消費者教育の一環として、「平原スマイルショップ」を立ち上げ、オリジナルエコバッグづくりに取り組みました。

実行委員会が各学級からデザイン案を募り、高学年のボランティアを中心に制作や袋詰め作業を行いました。保護者や地域の方々にたくさん購入して頂きました。今後、「地域とのつながりプロジェクト」として、活動を広げていきます。



エコバッグづくりに取り組む児童

三池の歴史を未来へつなごう



～地域体験学習を通して～ 三池小学校

三池校区には、数多くの史跡や文化財があります。そこで三池小学校では、総合的な学習の時間に校区の史跡を巡る「地域体験学習」を実施しています。学年別に巡る場所やテーマを決めて、「三池の歴史を学ぶ会」の方をGTに招き、詳しい説明を聞きながら史跡を巡り、学習を進めています。今年、4年生は大牟田の郷土カルタに9枚も取り上げられている三池の題材の場所を実際に見学し、オリジナルの「三池カルタ」を作成し、保護者や地域の方に紹介しました。三池の歴史や伝統を学び・発信することを通して、三池校区のひと・もの・ことよさと地域への愛着を更に深めました。



『三池カルタ』を紹介する児童

シトラスリボンプロジェクト



オンラインまちづくり授業 宮原中学校

このプロジェクトは、コロナ感染症に感染された方や医療従事者を「おかげり!」「ただいま!」の気持ちで受け入れ、地域で笑顔と思いやりのある暮らしやすい社会を目指すものです。子どもたちが気持ちを込めてつくった手作りリボンに関係者の方々に感謝の気持ちを込めて渡します。シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場・学校」を表現しています。また、オンライン授業で、東日本大震災で被災された南三陸町や、閉山後のまちづくりを推進しておられる夕張市とオンラインで結び、中学生にもできるまちづくりについて考え、行動していきます。夕張市からは詩集が送られてきました。



リボンづくりに取り組む生徒

高取ホタルプロジェクト 高取小学校



『ホタルとカワニナを救え』

昨年の7月に大牟田を襲った大雨によって、ホタルの幼虫とエサとなるカワニナの数が激減してしまい、「ホタルツリーの復活」が難しくなっていました。それどころかホタルやカワニナの生息さえ厳しい状況です。もともと市役所の環境課の方から長溝川の水質はとてもきれいと太鼓判を押されていたところでの大事件です。なんとかホタルとカワニナを救えないかを考えました。そこで、子供たちは学校の敷地内にある以前の稲作活動をしていた後を活用してカワニナを育しようと考えました。「ホタル池を整備して、カワニナを育てよう。」5年生の挑戦は続きます。



「高取ホタル池」をつくる児童